事業番号　65

平成２３年行政事業レビューシート　（　警察庁　）

事業名	ＤＮＡ型鑑定の実施	担当部局庁	刑事局	作成責任者
事業開始・終了(予定）年度	平成４年度～	担当課室	犯罪鑑識官	犯罪鑑識官 森本　和明
会計区分	一般会計	施策名	複数施策（１～７）	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号	関係する計画、通知等	－	

事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	極めて高い精度で個人を識別できるＤＮＡ型鑑定は、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な客観証拠となるものであり、犯罪捜査において不可欠な捜査手法となっているところ、近年における裁判員制度の導入、重要凶悪事件の公訴時効の廃止・延長といった刑事司法制度の大きな変革により、従来にも増して客観性の高い科学的証拠の収集・確保が重要となっていることを踏まえ、今後とも、重要犯罪、重要窃盗犯のみならず、あらゆる犯罪の捜査において、その積極的な活用を図り、より客観証拠に依拠した犯罪捜査の科学化を推進する。
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ＤＮＡ型鑑定は、一般に、刑事裁判において高い証拠価値を認められており、また、より客観証拠を重視する刑事司法制度の流れとなっている中、犯罪捜査における極めて高い有用性から、その鑑定需要は増加の一途をたどっている。そこで、今後とも、増加する鑑定需要に適切に対応して鑑定結果を犯罪捜査に迅速・的確に反映させるとともに、ＤＮＡ型鑑定の証拠価値を損なうことのないよう、その信頼性や精度を確保するため、鑑定基盤の更なる整備強化を図るものである。
実施方法	■直接実施　□業務委託等　□補助　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位:百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	1,107	1,182	1,846	2,052	2,061
	補正予算	0	893	0	0	
	繰越し等	0	△643	643	0	
	計	1,107	1,432	2,489	2,052	2,061
執行額		1,046	1,117	2,398		
執行率（%）		94%	78%	96%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年	21年	22年	目標値（　年）
(成果目標) ＤＮＡ型鑑定の活用による科学捜査の推進 (参考指標) ＤＮＡ型データベースの活用件数（事件数）	成果実績	件	611	1,152	1,409	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年	21年	22年	23年活動見込
ＤＮＡ型鑑定事件数	活動実績（当初見込み）	件	30,074	35,402	41,192 （　－　）	－ （　－　）

単位当たりコスト	2,397,754千円／年	算出根拠	年間執行額

平成23・24年度予算内訳

費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
物品購入等	2,052	2,061	修繕実績を予算に反映させたことにより予算額が増になったもの。
計	2,052	2,061	

事業所管部局による点検			
	評価	項　　目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局･他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1　支出先･使途の把握水準･状況 都道府県警察に予算配賦している経費については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先については把握している。 2　見直しの余地 本経費は、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、ＤＮＡ型鑑定の重要性や犯罪情勢を勘案し、適正な予算積算に努めているところであり、今後も引き続き実施する。 契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。		

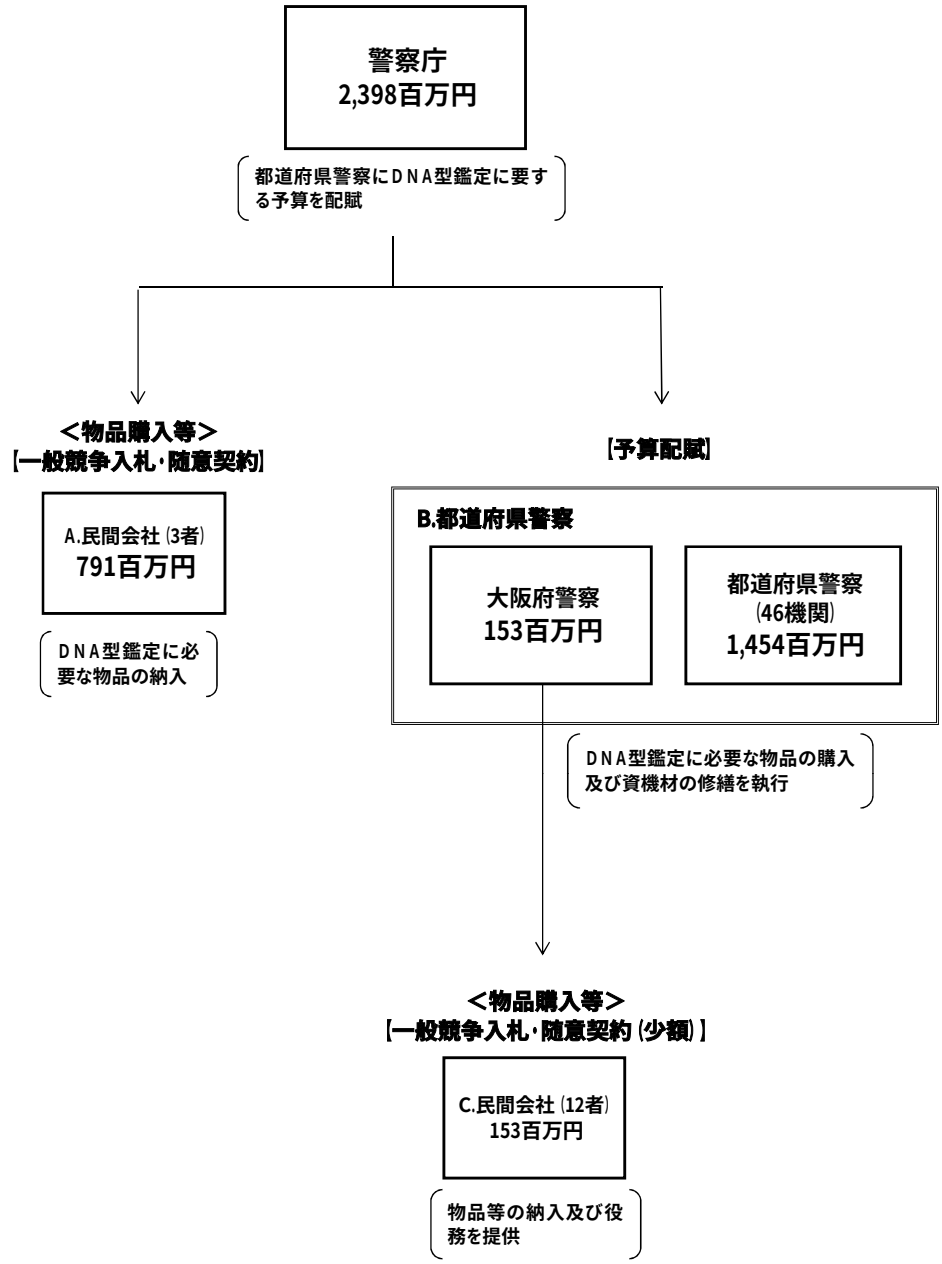
予算監視･効率化チームの所見	
現状通り	1　支出先･使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2　改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 ＤＮＡ型鑑定の実施については、平成24年度予算において概算要求を行うに当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算額の削減に努めること。 3　レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。

上記の予算監視･効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
特になし

補記　（過去に事業仕分け･公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
特になし

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

※平成22年度実績を記入



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.理化研（株）

費 目	使 途	金 額（百万円）
物品購入等	体液種識別システム	428
物品購入等	DNA定量装置	19
物品購入等	DNA抽出装置	7
物品購入等	加温振とう装置	2
物品購入等	微量高速冷却遠心機	1
物品購入等	96穴プレート用卓上遠心機	1
物品購入等	試料分注機材外の購入	1
計		459

B.大阪府警察

費 目	使 途	金 額（百万円）
予算配賦	DNA型鑑定に要する経費	153
計		153

C.株式会社アズバイオ

費 目	使 途	金 額（百万円）
物品購入等	アイデンティファイラーキットの購入等	143
計		143

D.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		

E.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		

F.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	理化研 (株)	体液種識別システムの購入	459	3	
2	オガワ精機 (株)	証拠品保管用冷凍庫の購入	215	7	
3	池田理化 (株)	フラグメントアナライザーの購入等	117	3	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

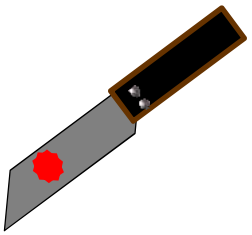
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府警察	予算配賦	153		
2	埼玉県警察	予算配賦	92		
3	福岡県警察	予算配賦	90		
4	愛知県警察	予算配賦	81		
5	神奈川県警察	予算配賦	64		
6	警視庁	予算配賦	58		
7	兵庫県警察	予算配賦	51		
8	千葉県警察	予算配賦	47		
9	北海道警察	予算配賦	42		
10	和歌山県警察	予算配賦	41		

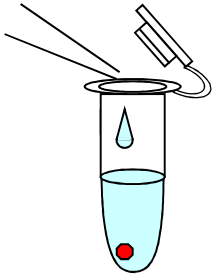
C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) アズバイオ	アイデンティファイラーキットの購入等	143	3	
2	(株) 早川衡器	PCRチューブの購入等	3	4	
3	(株) 木村製作所	チューブラックの購入等	1	4	
4	八洲薬品 (株)	ヒトスファインSAB-PO(M)キットの購入等	1	3	
5	ダイトク商事	トナーカートリッジの購入等	1	4	
6	アクセスコンピュータシステム (株)	トナーカートリッジの購入等	1	4	
7	(株) 関薬	アファーマジェンの購入等	1	少額随契	
8					
9					
10					

DNA型鑑定

資料採取

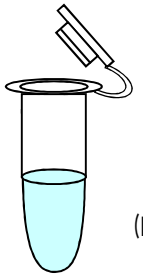




DNA抽出

（DNA抽出装置）

DNAのみを
抽出



（DNA溶液）

DNA定量

（リアルタイムPCR装置）

増幅に必要な
量を算出

DNA増幅

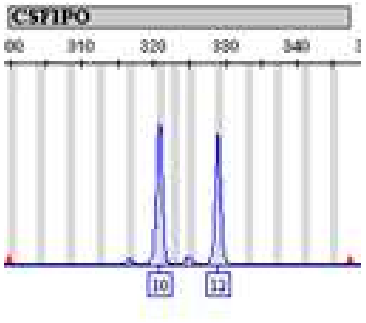
（PCR装置）

DNAを
数百万倍に
増幅

電気泳動

（フラグメントアナライザー）

データ解析



分析結果

D8S1179型　13　型
D21S11型　30　型
：　：

16座位について
結果が得られる

登録･照会

DNA型データベース

（被疑者資料･遺留資料のみ）